

この趣味のコーナーにあなたの趣味をお寄せください。

# 趣味コーナー

## 私としザークラフト

大田原赤十字病院 上杉みつえ



もうだいぶ前、私の前を素敵な女性が手作りのバックを持って歩いていました。思わず「素敵ですね」と声をかけていました。その日が私としザークラフトの最初の出会いでした。

それから数年クラフトの事を忘れていましたが、40歳代になり、仕事以外に何か趣味を持ちたい、大切な人から頂いたバックの修理をお願いしたいと考えているとき、「革の会」と出会いました。「大切なバックは自分で直したら」と言う先生の一言から始めたしザークラフト。

一年に一作を目標に土曜日の休日を利用して教室に通う。職場とは無縁の人々との集まりの中でただひたすら、無心に作品と向かいあいます。実際は、

郷土料理の作り方、近隣の年中行事への取り組み、嫁・姑それぞれの立場での意見交換などですが、作品の手は進まないが、職場、家族から解放された貴重な時間です。

しザークラフトは気が進まない時に作ると、思うような作品にならない。「これが欲しい!!」「これが作りたい!!」と思ったとき「世界に一つしかない私だけの作品」が作れるのです。時に見られる多少の荒さが「ハンドメイドの良さ」と感じる場合があります。これからも、失敗は恐れず、「ありきたりの綺麗な作品」ではなく、「多少の粗はあるけど、オリジナリティーのある作品」を作っていきたいと思っています。

今は、仕事に追われているけれど、



近い将来は、こんな趣味に囲まれ、自分の時間を大切にしたい生活を送りたいと思っています。

今回紹介いたしました作品は、基本的な工程(牛革を裁ち、カッターを入れ、手染め、手縫い)で作ったお出かけバック・ソフトレザーで作った県北の冬には欠かせないマントです。

# 職場の声

## 今、切実に困っていること

栃木県看護連盟のスローガンに「ベッドサイドから政治を変える」というものがありますが、本当に切実に「変えたい!」と思う事は身近にあります。

現在、子育て真っ最中のママさん看護師の方々。普段は幼稚園・保育所に子どもを預け、職場に来ている方も多いかと思います。普段はそれでなんとかこなせていても、もし仮に子どもがインフルエンザにかかったとしたら、頼みの幼稚園・保育所は出席停止になり、仕事を休まなくてはなりません。休みを取った分同僚の負担が増え、自分もリフレッシュのための休みではないので皆疲れが残るばかりになります。また、労働者のみならず雇用側にとってもマイナスな状況です。このような状況が相も変わらず存在している以上、まずはこれを改善せねばなりません。

現在、ともかくも早急に望まれるのは「看護師が常駐する託児施設」の創設です。病気がかかってしまった子ども達を見てくれるデイケアサービスがあれば、看護職だけではなく全国至る所の職場で労働環境はかなりの改善を得られるはずです。

もちろんこれは個人の力では不可能と言えますので政治的な力が必要となります。皆が声を出して政治に働きかけることこそ「ベッドサイドから政治を変える」という事に他ならないのです。

中嶋 珠實 記

## 栃木県看護連盟 50周年記念式典 並びに通常総会が開催されます

日時:6月18日(土)  
午前10:00~  
場所:コンセーレ大ホール

## 2011年 通常総会のお知らせ

日本看護協会通常総会  
開催日:6月6(月)・7(火)・8(水)日  
場所:横浜パシフィコホテル

日本看護連盟通常総会  
開催日:6月14日(火)  
場所:東京プリンスホテル

栃木県看護協会通常総会  
開催日:6月11日(土)午後  
場所:健康の森

# 編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は皆様のおかげで待望のバトンタッチができ、新たな出発をすることができました。ひと安心のところですが、しかし次の選挙まであと2年です。そのことを踏まえる意味もあり、

看護連盟では、会員を募集しております。めざせ7,000人です!!“びよん”といきたいですね 会員の心一つにして、福寿草も花開き春の足音が聞こえてきています。新たな年に向かいがんばっていきましょう。

広報委員  
直井 知子  
五月女文子  
中嶋 珠實